学校通信 けやきの子 4月

令和４年４月８日
大田区立石川台中学校
発行　経営支援部

今から、ここから

～進級・入学によせて～

校長　小菅みちる

４月１日から、石川台中学校に着任しました校長の小菅みちるです。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、令和２年度まで副校長としてこの石川台中におりました。私のことを覚えていてくれた３年生が「先生、お帰りなさい!」と笑顔で声をかけてくれました。校長として着任し、緊張していた私は、その一言で心があたたかくなりました。「石川台に帰ってきたんだな」と改めて思いました。

さて、新年度がスタートしました。新入生 66 名を迎え、合計２０６名でのはじまりです。春の石川台中は花と緑でいっぱいです。生徒のみなさんは「新しいクラスになじめるかな」「先生とうまくやれるかな」という不安や「今年は何を頑張ろうかな」「今年も〇〇は絶対やりたいな」という期待・希望があることでしょう。

自分が何をするか。どうなりたいか。そういったことを考えて、そして実行に移すことのできる１年にしてほしいと願っています。そう。すべて、「今から、ここから」なのです。

以下に、入学式で私が新入生に話したことを記しておきます。学校のみんなで令和４年度の石川台中学校を一緒に作っていきましょう。

呑川の桜が、みなさんを優しくお迎えするかのように、大変美しく咲き、みどり色の若葉もまぶしく輝いています。
66 名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。教職員及び在校生一同、みなさんの入学を心から歓迎します。
明るく規律ある学校、石川台中学校へようこそ。本校の教育目標は「思考力に富む、実行力のある、情操の豊かな生徒を育てる」というものです。

今日からみなさんは、この石川台中学校でたくさんのことを学びます。新しい知識との出会い、友達との出会い、感動との出会いを大切にしていただきたいと思います。

人生の中で最も大きく成長するのが中学生時代です。

中学校生活が始まるにあたり、大切な心構えを三つお話しします。

一つ目は、当たり前のことを当たり前に、さりげなく実行できる人になろう、ということです。学校はたくさんの人がいる場所です。その中で、あいさつをする、時間を守る、人の話をきちんと聞く、責任を果たす、そんな当たり前のことを当たり前に、さりげなく実行できる人になってください。

二つ目は、勉強を楽しめるようになろう、ということです。学校は、勉強するところです。社会人として生きていくために必要な基礎を身につけるところです。でも、はじめから勉強が楽しいと思える人は、ほとんどいないかもしれません。楽しいと思えるようになるには、我慢や努力も必要になってきます。そして大切なのは「学び合うこと」。仲間と学び合うこと

で自分を高め、勉強を楽しめるようになってください。

　三つ目は、心も体も健康でいよう、ということです。充実した学校生活には、元気な心と体が必要です。食事や睡眠など、規則正しい生活を送り、体育の授業を中心に体を動かすことはもちろん、手洗いなどの感染症対策も忘れてはなりません。辛いことにも負けないプラス思考で取り組める心と、たくましい体をつくりましょう。
　学校生活の中でわからないことがあったり、困ったりしたときには、先生方はもちろんですが、いま、会場に座っている上級生や、この入学式に各教室でリモート参加をしているたくさんの二年生、三年生の先輩方に聞いてください。上級生はみなさんのお手本です。どんなことも親切に教えてくれると思います。この立派な入学式の会場も、新入生の教室や廊下の清掃や装飾も、上級生が心を込めて準備してくれました。学習や行事前向きに取り組むことができ、仲のよい頼りになる立派な上級生です。
　さて、保護者のみなさま、お子様の中学校ご入学、本当におめでとうございます。大切なお子様を私たち教職員一同、今しっかりとお預かりいたしました。誠心誠意、一人一人の生徒を心豊かに育んでいく所存でございます。教育は、学校・家庭・地域が一つになってこそ、その成果が期待できるものです。今後ともご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
　新入生のみなさん。今、こうして新しい出会いが生まれたことに感謝し、これから始まる三年間を大切に過ごしてください。そしていろいろなことに挑戦し、努力をしてください。努力は必ずあなたの力になって返ってきます。みなさんがこの石川台中学校の生徒になったことに誇りをもち、夢をもって中学校生活をスタートさせてほしいと願っています。
　すべて、「今から、ここから」です。
新入生のみなさんの新しい出発をお祝いし、私の式辞といたします。

保護者のみなさま

　新しい年度がはじまりました。教職員一同、一丸となって生徒を育ててまいります。どうぞよろしくお願いいたします。